

別表第1 (第22条, 第29条関係)
授業科目, 単位数及び配当基準年次

昼間コース

(1) 共通科目

ア 基礎科目

系	授業科目	単位数	配当基準年次	備考
人間と文化	哲学	2	I	(注)
	論理学	2	I	
	倫理学	2	I	
	宗教学	2	I	
	心理学 I	2	I	
	心理学 II	2	I	
	教育学	2	I	
	日本文学 I	2	I	
	日本文学 II	2	I	
	外国文学 I	2	I	
	外国文学 II	2	I	
	文化論	2	I	
	言語学	2	I	
	日本語学	2	I	
	比較日本文化論	2	I	
	言語コミュニケーション論	2	I	
	外国語コミュニケーション I	2	I	
外国語コミュニケーション II	2	I		
外国事情	2	I		
社会と人間	科学方法論	2	I	
	社会科学	2	I	
	歴史学 I	2	I	
	歴史学 II	2	I	
	社会思想史 I	2	I	
	社会思想史 II	2	I	
	政治学 I	2	I	
	政治学 II	2	I	
	社会学 I	2	I	
	社会学 II	2	I	
	文化人類学	2	I	
自然と環境	数学 I	2	I	
	数学 II	2	I	
	物理学 I	2	I	
	物理学 II	2	I	
	化学 I	2	I	
	化学 II	2	I	
	生物学 I	2	I	
	生物学 II	2	I	
環境科学	2	I		
知(地)の基礎	総合科目 I	2	I	
	総合科目 II	2	I	
	総合科目 III	2	I	
	基礎数学	2	I	
	基礎ゼミナール	2	I	
	地域活性化システム論	2	I	
	グローバリズムと地域経済	2	I	
	地域学	2	I	
	社会連携実践 I	2	I	
	社会連携実践 II	2	I・II	
健康科学	生活と健康	2	I	
	予防の医学	2	I	
	健康スポーツ I a	1	I・II	
	健康スポーツ I b	1	I・II	
	健康スポーツ I c	1	I・II	
	健康スポーツ II a	1	I・II	
	健康スポーツ II b	1	I・II	
健康スポーツ II c(スキー)	1	I・II		
(注) 外国事情の単位については, 学則第38条の規定に基づく学生の留学における単位互換認定に充てる。				

別表第2(第22条, 第25条, 第29条, 第40条関係)

昼間コース

(1) 共通科目及び日本語科目

区 分		単 位 数	備 考	
共通科目	基礎科目	知(地)の基礎	6 単位以上 4 単位以上 4 単位以上 4 単位以上 2 単位以上 20 単位以上	外国人留学生在が日本語学と比較日本文化論を修得した場合には、日本語科目の修得単位に振り替えることができる。
		人間と文化		
		社会と人間		
		自然と環境		
		健康科学		
	外国語科目	14 単位以上	1. 7外国語科目のうちから2外国語科目を選択必修とする。この場合において、外国語科目のⅠは2外国語各4単位、計8単位を、Ⅱは1外国語をⅡAとして4単位を、他方をⅡBとして2単位をそれぞれ必修とする。 ただし、外国人留学生的の場合は、母語を含めることはできない。 2. 外国人留学生的の場合は、上級日本語及び日本事情から計6単位以上をもって、1外国語とすることができる。 3. 外国人留学生在が、外国語科目・日本語科目を14単位を超えて修得した場合には、日本語科目の日本事情Ⅰ・Ⅱに限り4単位まで基礎科目中の人間と文化系の修得単位に振り替えることができる。 4. 外国人留学生以外の学生が日本語科目を履修しても卒業所要単位には算入しない。	
日本語科目	(12 単位)			
自由選択 (共通科目の単位数欄に掲げる単位を超える単位)		12 単位		
計		52 単位		

(2) 学科科目

経済学科, 商学科(商学科英語専修を除く), 企業法学科及び社会情報学科共通

区 分	単位数	備 考
自学科基幹科目	12 単位	商学科英語専修の科目を除く。
自学科発展科目	28 単位	商学科英語専修の科目を除く。自学科基幹科目の単位数欄に掲げる単位数を超える単位を含めることができる。
自他学科科目 専門共通科目 学科自由科目	20 単位	1. 自学科基幹科目及び自学科発展科目の単位数欄に掲げる単位数を超える単位を含めることができる。 2. 商学科英語専修科目及び学科自由科目は、以下の科目を卒業所要単位に含めることができる。 ・経済学入門Ⅰ・経済学入門Ⅱ・国際経済学・英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・比較文化Ⅰ・比較文化Ⅱ・法学・国際法・英語上級Ⅰ・英語上級Ⅱ・英語上級Ⅲ・英語上級Ⅳ・ビジネス英語Ⅰ・ビジネス英語Ⅱ・英語学特講Ⅰ・英語学特講Ⅱ・英文学特講Ⅰ・英文学特講Ⅱ
研究指導	12 単位	3年以上4年未満の在学で卒業する場合は、6単位を学科発展科目に認定する。
計	72 単位	
卒業所要単位	124 単位	

(注)		
1. 自他学科科目とは、所属学科及び所属以外の学科の科目をいう。学科自由科目とは、経済学科、商学科、企業法学科、社会情報学科の自由科目をいう。		
2. 進級に必要な単位数		
ア 3年次に進級するためには、46単位(卒業所要単位に算入される単位に限る。)以上修得しなければならない。		
イ 上記「ア」の単位数を2年を超えて修得した者は、修得した年度の終了後2年以上在学しなければならない。		
3. 研究指導の履修方法		
ア 研究指導は原則として必修科目とする。		
イ 研究指導を履修する者は、原則として、自学科科目あるいは専門共通科目の研究指導を履修するものとする。		
ウ 例外的措置として研究指導を履修しないことが認められた者は、自学科の学科科目のうちから別に12単位を履修しなければならない。		

商学科英語専修

区 分	単 位 数	備 考
自学科基幹科目	12単位	英語専修基幹科目から12単位
自学科発展科目	28単位	英語学概論Ⅲ及び英作文Ⅰを含め英語専修発展科目から28単位
自他学科科目 専門共通科目 学科自由科目	20単位	1. 専修の科目を除く。 2. 自由科目は、以下の科目を卒業所要単位に含めることができる。 ・経済学入門Ⅰ・経済学入門Ⅱ・国際経済学・法学・国際法
研究指導	12単位	3年以上4年未満の在学で卒業する場合は、6単位を学科発展科目に認定する。
計	72単位	
卒業所要単位	124単位	

(注)		
1. 進級に必要な単位数		
ア 3年次に進級するためには、46単位(卒業所要単位に算入される単位に限る。)以上修得しなければならない。		
イ 上記「ア」の単位数を2年を超えて修得した者は、修得した年度の終了後2年以上在学しなければならない。		
2. 研究指導の履修方法		
ア 研究指導は原則として必修科目とする。		
イ 研究指導を履修する者は、原則として、自学科科目あるいは専門共通科目の研究指導を履修するものとする。		
ウ 例外的措置として研究指導を履修しないことが認められた者は、自学科の学科科目のうちから別に12単位を履修しなければならない。		

夜間主コース

(1) 共通科目

区 分		単 位 数	備 考
共通科目	基礎科目	知の基礎	6単位以上
		人間と文化	4単位以上
		社会と人間	4単位以上
		自然と環境	4単位以上
		健康科学	2単位以上
	外国語科目	12単位以上	英語Ⅰ・英語Ⅱ必修 英語以外の3外国語のうちから1外国語を選択必修
自由選択 (共通科目の単位数欄に掲げる単位を超える単位)		14単位	
計		52単位	

(2) 学科科目

経済学科，商学科（商学科英語専修を除く），企業法学科及び社会情報学科共通

区 分	単 位 数	備 考
コ ー ス 基 幹 科 目	24 単位	1. コース基幹科目の24単位を超える単位は，コース発展科目の単位に含めることができる。 2. <u>商学科英語専修科目及びコース自由科目</u> は，以下の科目を卒業所要単位に含めることができる。 ・経済学入門・経済理論・国際経済と現代 ・英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・比較文化Ⅰ・比較文化Ⅱ・法学・国際法 3. 3年以上4年未満の在学で卒業する場合は，研究指導4単位をコース発展科目に認定する。
コ ー ス 発 展 科 目 (卒業論文4単位を含む)	40 単位	
専 門 共 通 科 目		
コ ー ス 自 由 科 目		
研 究 指 導	8 単位	
計	72 単位	
卒 業 所 要 単 位	124 単位	
(注) 1. コース基幹科目とは，経済学科，商学科（英語専修科目を除く），企業法学科及び社会情報学科の基幹科目をいい，コース発展科目とは，経済学科，商学科（英語専修科目を除く），企業法学科及び社会情報学科の発展科目をいう。コース自由科目とは，経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科の自由科目をいう。 2. 進級に必要な単位数 ア 3年次に進級するためには，46単位（卒業所要単位に算入される単位に限る。）以上修得しなければならない。 イ 上記「ア」の単位数を2年を超えて修得した者は，修得した年度の終了後2年以上在学しなければならない。 3. 研究指導の履修方法 ア 研究指導は原則として必修とする。 イ 例外的措置として研究指導を履修しないことが認められた者は，学科科目のうちから別に8単位を履修しなければならない。		

商学科英語専修

区 分	単 位 数	備 考
コ ー ス 基 幹 科 目	24 単位	1. 英語専修基幹科目から12単位含めること。コース基幹科目の24単位を超える単位は，コース発展科目の単位に含めることができる。 2. コース発展科目には英語学概論Ⅲ及び英作文Ⅰを含め英語専修発展科目から28単位以上 3. コース自由科目は，以下の科目を卒業所要単位に含めることができる。 ・経済学入門・経済理論・国際経済と現代 ・法学・国際法 4. 3年以上4年未満の在学で卒業する場合は，研究指導4単位をコース発展科目に認定する。
コ ー ス 発 展 科 目 (卒業論文4単位を含む)	40 単位	
専 門 共 通 科 目		
コ ー ス 自 由 科 目		
研 究 指 導	8 単位	
計	72 単位	
卒 業 所 要 単 位	124 単位	
(注) 1. コース基幹科目とは，経済学科，商学科，企業法学科及び社会情報学科の基幹科目をいい，コース発展科目とは，経済学科，商学科，企業法学科及び社会情報学科の発展科目をいう。コース自由科目とは，経済学科，商学科，企業法学科，社会情報学科の自由科目をいう。 2. 進級に必要な単位数 ア 3年次に進級するためには，46単位（卒業所要単位に算入される単位に限る。）以上修得しなければならない。 イ 上記「ア」の単位数を2年を超えて修得した者は，修得した年度の終了後2年以上在学しなければならない。 3. 研究指導の履修方法 ア 研究指導は原則として必修とする。 イ 例外的措置として研究指導を履修しないことが認められた者は，学科科目のうちから別に8単位を履修しなければならない。		

イ 外国語科目

授 業 科 目	単位数	配当基準年次	備 考
英語 I A	1	I	
英語 I B	1	I	
英語 I C	1	I	
英語 I D	1	I	
英語 II A 1 / B 1	1	II	
英語 II A 2 / B 2	1	II	
英語 II A 3	1	II	
英語 II A 4	1	II	
ドイツ語 I - 1	2	I	
ドイツ語 I - 2	2	I	
ドイツ語 II A - 1	2	II	
ドイツ語 II A - 2	2	II	
ドイツ語 II B - 1	1	II	
ドイツ語 II B - 2	1	II	
フランス語 I - 1	2	I	
フランス語 I - 2	2	I	
フランス語 II A - 1	2	II	
フランス語 II A - 2	2	II	
フランス語 II B - 1	1	II	
フランス語 II B - 2	1	II	
中国語 I - 1	2	I	
中国語 I - 2	2	I	
中国語 II A - 1	2	II	
中国語 II A - 2	2	II	
中国語 II B - 1	1	II	
中国語 II B - 2	1	II	
スペイン語 I - 1	2	I	
スペイン語 I - 2	2	I	
スペイン語 II A - 1	2	II	
スペイン語 II A - 2	2	II	
スペイン語 II B - 1	1	II	
スペイン語 II B - 2	1	II	
ロシア語 I - 1	2	I	
ロシア語 I - 2	2	I	
ロシア語 II A - 1	2	II	
ロシア語 II A - 2	2	II	
ロシア語 II B - 1	1	II	
ロシア語 II B - 2	1	II	
韓国語 I - 1	2	I	
韓国語 I - 2	2	I	
韓国語 II A - 1	2	II	
韓国語 II A - 2	2	II	
韓国語 II B - 1	1	II	
韓国語 II B - 2	1	II	

(2) 学科科目

ア 経済学科

授業科目		単位数	配当基準年次	備考	
基礎経済学	基幹科目	マクロ経済学	4	Ⅱ	
		ミクロ経済学	4	Ⅱ	
		統計学	2	Ⅰ	
		経済史	2	Ⅱ	
		計量経済学	4	Ⅱ	
	発展科目	現代経済理論Ⅰ	2	Ⅱ	
		現代経済理論Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	
		数理統計学	4	Ⅱ	
		経済データ解析論	4	Ⅲ・Ⅳ	
		経済学史	4	Ⅲ・Ⅳ	
		日本経済史	4	Ⅱ	
		外国経済史Ⅰ	4	Ⅲ・Ⅳ	
		外国経済史Ⅱ	4	Ⅲ・Ⅳ	
	応用経済学	基幹科目	国際経済学	2	Ⅱ
発展科目		公共経済学	4	Ⅲ・Ⅳ	
		労働経済学	4	Ⅱ	
		産業組織論	4	Ⅲ・Ⅳ	
		財政学	4	Ⅲ・Ⅳ	
		金融論	4	Ⅱ	
		国際金融と世界経済	4	Ⅲ・Ⅳ	
		現代ファイナンス理論	4	Ⅱ	
		国際貿易理論	2	Ⅲ・Ⅳ	
		国際マクロ経済学	4	Ⅲ・Ⅳ	
	基幹科目	経済数学	2	Ⅱ	
		経済学入門Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	
		経済学入門Ⅱ	2	Ⅰ・Ⅱ	
	発展科目	経済学特別講義	【2】	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
		社会連携実践Ⅲ	2	Ⅱ	
		卒業研究	6	Ⅲ	早期卒業者に限る
	自由科目	日本史	2	Ⅰ	※
		外国史	2	Ⅰ	※
		地理学	2	Ⅰ	※
		法学	2	Ⅰ	※
		国際法	4	Ⅱ	※
	研究指導		1 2	Ⅲ・Ⅳ	

※印は教員免許状を取得するための科目であることを示す。
*単位欄中の数値に【 】が付いている授業科目は、複数の講義題目により行われる場合、それぞれ一の授業科目として履修することができる。
*配当基準年次が「Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」となっている科目については、講義題目等に応じて配当基準年次を別に定めることができる。

イ 商学科

授業科目		単位数	配当基準年次	備考		
商 学	基幹科目	流通システム論Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ		
		流通システム論Ⅱ	2	Ⅱ		
	発展科目	マーケティング	4	Ⅱ		
		貿易論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		マーケティング行動論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		チャンネル・マネジメント	4	Ⅲ・Ⅳ		
		国際マーケティング	4	Ⅲ・Ⅳ		
		保険論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		金融市場論	4	Ⅲ・Ⅳ		
商学特講		【2】	Ⅲ・Ⅳ			
経 営 学	基幹科目	経営学原理Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ		
		経営学原理Ⅱ	2	Ⅱ		
		経営管理論	4	Ⅱ		
	発展科目	経営史	4	Ⅱ		
		経営学説史	4	Ⅲ・Ⅳ		
		経営組織論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		労務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		財務管理論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		国際経営論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		企業と社会	4	Ⅲ・Ⅳ		
		中小企業論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		経営学特講	【2】	Ⅲ・Ⅳ		
		経営戦略論	4	Ⅲ・Ⅳ		
会 計 学	基幹科目	簿記原理	2	Ⅰ		
		応用簿記	2	Ⅱ		
		経営と会計	2	Ⅱ		
	発展科目	財務会計論	4	Ⅱ		
		原価計算論	4	Ⅱ		
		管理会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		監査論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		国際会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		組織と会計	2	Ⅲ・Ⅳ		
		税務会計論	4	Ⅲ・Ⅳ		
		会計学特講	【2】	Ⅲ・Ⅳ		
	発展科目	社会連携実践Ⅲ	2	Ⅱ		早期卒業者に限る
		卒業研究	6	Ⅲ		
	英 語 専 修	基幹科目	英語学概論Ⅰ	2		Ⅰ
		英語学概論Ⅱ	2	Ⅰ		
		英文学史Ⅰ	2	Ⅰ		
		英文学概論Ⅰ	2	Ⅰ		
		英語コミュニケーションⅠ	2	Ⅰ		
		比較文化Ⅰ	2	Ⅰ		

発展科目	言語学概論	2	Ⅱ	
	英語学概論Ⅲ	2	Ⅱ	
	英語学Ⅰ	2	Ⅱ	
	英語学Ⅱ	2	Ⅱ	
	英文学史Ⅱ	2	Ⅱ	
	英文学概論Ⅱ	2	Ⅱ	
	英文学Ⅰ	2	Ⅱ	
	英文学Ⅱ	2	Ⅱ	
	英作文Ⅰ	2	Ⅱ	
	英作文Ⅱ	2	Ⅱ	
	英語コミュニケーションⅡ	2	Ⅱ	
	英語コミュニケーションⅢ	2	Ⅱ	
	英語コミュニケーションⅣ	2	Ⅱ	
	比較文化Ⅱ	2	Ⅱ	
	比較文化Ⅲ	2	Ⅱ	
比較文化Ⅳ	2	Ⅱ		
自由科目	英語上級Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	
	英語上級Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	
	英語上級Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ	
	英語上級Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ	
	ビジネス英語Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	
	ビジネス英語Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	
	英語学特講Ⅰ	2	Ⅱ	
	英語学特講Ⅱ	2	Ⅱ	
	英文学特講Ⅰ	2	Ⅱ	
	英文学特講Ⅱ	2	Ⅱ	
	職業指導	2	Ⅱ	※
	研究指導	1 2	Ⅲ・Ⅳ	
<p>※印は教員免許状を取得するための科目であることを示す。 *単位欄中の数値に【 】が付いている授業科目は、複数の講義題目により行われる場合、それぞれ一の授業科目として履修することができる。</p>				

ウ 企業法学科

授 業 科 目		単位数	配当基準年次	備 考		
基礎法	基幹科目	憲法・基礎Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ	日本国憲法2単位	
		憲法・基礎Ⅱ	2	Ⅱ		
		行政法Ⅰ	4	Ⅲ・Ⅳ		
		民法・基礎Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ		
		民法・基礎Ⅱ	2	Ⅱ		
		刑法Ⅰ	4	Ⅱ		
		法学	2	Ⅰ		
		発展科目	憲法Ⅱ	4		Ⅱ
	行政法Ⅱ		4	Ⅲ・Ⅳ		
	租税法		4	Ⅲ・Ⅳ		
	民法Ⅱ		4	Ⅱ		
	民法Ⅲ		4	Ⅲ・Ⅳ		
	民法Ⅳ		2	Ⅲ・Ⅳ		
	刑法Ⅱ		2	Ⅲ・Ⅳ		
	国際法		4	Ⅱ		
	国際機構論		4	Ⅱ		
	基礎法特講		【2】	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
	企業法	基幹科目	商法Ⅰ	4	Ⅱ	
発展科目			商法Ⅱ	4	Ⅲ・Ⅳ	
		商法Ⅲ	4	Ⅲ・Ⅳ		
		経済法	4	Ⅲ・Ⅳ		
		知的財産法	4	Ⅲ・Ⅳ		
		労働法	4	Ⅲ・Ⅳ		
		社会保障法	4	Ⅲ・Ⅳ		
		国際経済法	4	Ⅲ・Ⅳ		
		企業法特講	【2】	Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
発展科目		社会連携実践Ⅲ	2	Ⅱ	早期卒業者に限る	
	卒業研究	6	Ⅲ			
	自由科目	日本史	2	Ⅰ		※
		外国史	2	Ⅰ		※
		地理学	2	Ⅰ		※
		経済学入門Ⅰ	2	Ⅰ・Ⅱ		※
		経済学入門Ⅱ	2	Ⅰ・Ⅱ		※
国際経済学	2	Ⅱ	※			
研究指導	12	Ⅲ・Ⅳ				

※印は教員免許状を取得するための科目であることを示す。

*単位欄中の数値に【 】が付いている授業科目は、複数の講義題目により行われる場合、それぞれ一の授業科目として履修することができる。

*配当基準年次が「Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」となっている科目については、講義題目等に応じて配当基準年次を別に定めることができる。

エ 社会情報学科

授 業 科 目		単位数	配当基準	備 考	
計 画 科 学	基 幹 科 目	オペレーションズ・リサーチ	2	Ⅱ	
		統計科学	2	Ⅱ	
		計画数学Ⅰ	2	Ⅱ	
		計画数学Ⅱ	2	Ⅱ	
	発 展 科 目	社会計画Ⅰ	2	Ⅱ	
		社会計画Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	
		計画科学Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	
		計画科学Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	
		意思決定論Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	
		意思決定論Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	
組 織 と 情 報	基 幹 科 目	経営システム基礎	2	Ⅱ	
		情報システム管理論	2	Ⅱ	
	発 展 科 目	プロジェクトマネジメント基礎	2	Ⅱ	
		組織コミュニケーション論	2	Ⅱ	
		デジタルデザイン論	2	Ⅱ	
		システム戦略論	2	Ⅲ・Ⅳ	
		組織情報論	2	Ⅲ・Ⅳ	
		社会情報論	2	Ⅲ・Ⅳ	
		情報システム構築論	2	Ⅲ・Ⅳ	
		実践プロジェクトマネジメント	2	Ⅲ・Ⅳ	
		ビジネスシステム論	2	Ⅲ・Ⅳ	
社 会 と 情 報	基 幹 科 目	知識科学基礎	2	Ⅱ	
		情報処理	4	Ⅱ	
	発 展 科 目	情報数理	2	Ⅱ	
		認知科学	4	Ⅲ・Ⅳ	
		ソフトウェア科学	4	Ⅲ・Ⅳ	
		コンピュータネットワーク論	4	Ⅲ・Ⅳ	
		情報と職業	2	Ⅲ・Ⅳ	
		応用情報論Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ	
		応用情報論Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ	
	基 幹 科 目	社会情報入門Ⅰ	2	Ⅰ	
		社会情報入門Ⅱ	2	Ⅰ・Ⅱ	
		情報処理基礎	2	Ⅰ・Ⅱ	
	発 展 科 目	社会情報特講Ⅰ	【2】	Ⅲ・Ⅳ	
		社会情報特講Ⅱ	【2】	Ⅲ・Ⅳ	
社会情報特講Ⅲ		【2】	Ⅲ・Ⅳ		
社会連携実践Ⅲ		2	Ⅱ		
卒業研究		6	Ⅲ	早期卒業者に限る	
研究指導		12	Ⅲ・Ⅳ		
*単位欄中の数値に【 】が付いている授業科目は、複数の講義題目により行われる場合、それぞれ一の授業科目として履修することができる。					

オ 専門共通科目

授 業 科 目	単位数	配当基準年次	備 考
現代哲学論	2	Ⅱ	
現代心理学	2	Ⅱ	
文学と人間	2	Ⅱ	
現代思想	2	Ⅱ	
現代の社会	2	Ⅱ	
歴史と社会	2	Ⅱ	
環境の分析化学Ⅰ	2	Ⅱ	
環境の分析化学Ⅱ	2	Ⅱ	
自然と物理学	2	Ⅱ	
現代の生物学	2	Ⅱ	
現代の数学Ⅰ	2	Ⅱ	
現代の数学Ⅱ	2	Ⅱ	
現代の数学Ⅲ	2	Ⅱ	
現代の数学Ⅳ	2	Ⅱ	
人間科学論	2	Ⅱ	
国際コミュニケーションⅠ	【2】	Ⅱ	
国際コミュニケーションⅡ	【2】	Ⅱ	
外国語上級Ⅰ	【2】	Ⅲ・Ⅳ	
外国語上級Ⅱ	【2】	Ⅲ・Ⅳ	
外国語上級Ⅲ	【2】	Ⅲ・Ⅳ	
外国語上級Ⅳ	【2】	Ⅲ・Ⅳ	
アジア・オセアニア事情	2	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
ヨーロッパ事情	2	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
アメリカ事情	2	Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	
研究指導	1 2	Ⅲ・Ⅳ	
*単位欄中の数値に【 】が付いている授業科目は、複数の講義題目により行われる場合、それぞれ一の授業科目として履修することができる。			

(3) 日本語科目

授 業 科 目	単位数	配当基準年次	備 考
初級日本語	4	Ⅰ	
中級日本語Ⅰ	3	Ⅰ	
中級日本語Ⅱ	3	Ⅰ	
上級日本語Ⅰ	2	Ⅰ	
上級日本語Ⅱ	2	Ⅰ	
上級日本語Ⅲ	2	Ⅱ	
上級日本語Ⅳ	2	Ⅱ	
日本事情Ⅰ	2	Ⅰ	
日本事情Ⅱ	2	Ⅱ	
語学教育実習	1	Ⅰ	

夜間主コース

(1) 共通科目

ア 基礎科目

系	授 業 科 目	単位数	配当基準年次	備 考
人間と文化	哲学	2	I・II	(注)
	倫理学	2	I・II	
	心理学Ⅰ	2	I・II	
	心理学Ⅱ	2	I・II	
	教育学	2	I・II	
	日本文学Ⅰ	2	I・II	
	日本文学Ⅱ	2	I・II	
	外国文学	2	I・II	
	人文科学特別講義	【2】	I・II	
	言語学	2	I・II	
	言語コミュニケーション論	2	I・II	
外国事情	2	I		
社会と人間	歴史学Ⅰ	2	I・II	
	歴史学Ⅱ	2	I・II	
	社会思想史Ⅰ	2	I・II	
	社会思想史Ⅱ	2	I・II	
	政治学Ⅰ	2	I・II	
	政治学Ⅱ	2	I・II	
	社会学Ⅰ	2	I・II	
	社会学Ⅱ	2	I・II	
	社会科学特別講義	【2】	I・II	
自然と環境	数学Ⅰ	2	I・II	
	数学Ⅱ	2	I・II	
	物理学Ⅰ	2	I・II	
	物理学Ⅱ	2	I・II	
	化学Ⅰ	2	I・II	
	化学Ⅱ	2	I・II	
	生物学Ⅰ	2	I・II	
	生物学Ⅱ	2	I・II	
	環境科学	2	I・II	
知の基礎	総合科目Ⅰ	2	I	
	総合科目Ⅱ	2	I	
	基礎数学	2	I	
	基礎ゼミナール	2	I	
	社会連携実践Ⅰ	2	I	
	社会連携実践Ⅱ	2	I・II	
健康科学	生活と健康	2	I・II	
	予防の医学	2	I・II	
	健康スポーツⅠ	1	I・II	
	健康スポーツⅡ	1	I・II	
	健康スポーツⅡc(スキー)	1	I・II	
(注) 外国事情の単位については、学則第38条の規定に基づく学生の留学における単位互換認定に充てる。				
*単位欄中の数値に【 】が付いている授業科目は、複数の講義題目により行われる場合、それぞれ一の授業科目として履修することができる。				

イ 外国語科目

授業科目	単位数	配当基準年次	備 考
英語 I A	1	I	
英語 I B	1	I	
英語 I C	1	I	
英語 I D	1	I	
英語 II A 1	1	II	
英語 II A 2	1	II	
英語 II B 1	1	II	
英語 II B 2	1	II	
ドイツ語 I - 1	2	I	
ドイツ語 I - 2	2	I	
フランス語 I - 1	2	I	
フランス語 I - 2	2	I	
中国語 I - 1	2	I	
中国語 I - 2	2	I	

(2) 学科科目

ア 経済学科

講座	授業科目		単位数	配当基準年次	備考
基礎 経済学	基幹 科目	経済学入門	2	I	
		経済理論	2	II	
		経済と統計	2	II	
		経済史	2	II	
	発展 科目	経済思想史	2	III・IV	
応用 経済学	基幹 科目	応用ミクロ経済学	2	II	
	発展 科目	公共政策	2	III・IV	
		金融経済 国際経済と現代	2 2	III・IV III・IV	
	基幹 科目	経済学と現代	2	II	
	発展 科目	経済書講読 I	2	III・IV	
		経済書講読 II	2	III・IV	
		経済学演習 I	2	III・IV	
		経済学演習 II	2	III・IV	
		経済学演習 III	2	III・IV	
		経済学演習 IV	2	III・IV	
		社会連携実践 III	2	II	
	卒業研究	4	III	早期卒業者に限る	
	自由 科目	日本史	2	I	※
		外国史	2	I	※
		地理学	2	I	※
		法学	2	I	※
国際法		2	III・IV	※	
	研究指導	8	III・IV		
	卒業論文	4	IV		

※印は教員免許状を取得するための科目であることを示す。

イ 商学科

講座	授 業 科 目		単位数	配当基準年次	備 考
商学	基幹科目	市場システム論Ⅰ	2	Ⅱ	
		市場システム論Ⅱ	2	Ⅱ	
	発展科目	金融システム論Ⅰ 金融システム論Ⅱ 国際市場論	2 2 2	Ⅲ・Ⅳ Ⅲ・Ⅳ Ⅲ・Ⅳ	
経営学	基幹科目	経営学原理	2	Ⅱ	
		経営管理論	2	Ⅱ	
	発展科目	経営史 現代企業管理論Ⅰ 現代企業管理論Ⅱ	2 2 2	Ⅲ・Ⅳ Ⅲ・Ⅳ Ⅲ・Ⅳ	
会計学	基幹科目	簿記原理	2	Ⅰ	
		会計学原理	2	Ⅱ	
	発展科目	財務会計概論 原価計算概論 管理会計概論	2 2 2	Ⅲ・Ⅳ Ⅲ・Ⅳ Ⅲ・Ⅳ	
	発展科目	社会連携実践Ⅲ 卒業研究	2 4	Ⅱ Ⅲ	早期卒業者に限る
英語専修	基幹科目	英語学概論Ⅰ	2	Ⅰ	
		英語学概論Ⅱ	2	Ⅰ	
		英文学史Ⅰ	2	Ⅰ	
		英文学概論Ⅰ	2	Ⅰ	
		英語コミュニケーションⅠ	2	Ⅰ	
		比較文化Ⅰ	2	Ⅰ	
	発展科目	言語学概論	2	Ⅱ	
		英語学概論Ⅲ	2	Ⅱ	
		英語学Ⅰ	2	Ⅱ	
		英語学Ⅱ	2	Ⅱ	
		英文学史Ⅱ	2	Ⅱ	
		英文学概論Ⅱ	2	Ⅱ	
		英文学Ⅰ	2	Ⅱ	
		英文学Ⅱ	2	Ⅱ	
		英作文Ⅰ	2	Ⅱ	
		英作文Ⅱ	2	Ⅱ	
		英語コミュニケーションⅡ	2	Ⅱ	
		英語コミュニケーションⅢ	2	Ⅱ	
		英語コミュニケーションⅣ	2	Ⅱ	
		比較文化Ⅱ	2	Ⅱ	
比較文化Ⅲ	2	Ⅱ			
比較文化Ⅳ	2	Ⅱ			
自由科目	職業指導	2	Ⅱ	※	
	研究指導	8	Ⅲ・Ⅳ		
	卒業論文	4	Ⅳ		

※印は教員免許状を取得するための科目であることを示す。

ウ 企業法学科

講座	授 業 科 目		単位数	配当基準年次	備 考
基 礎 法	基 幹 科 目	法学	2	I	日本国憲法
		憲法 I	2	II	
		民法 I	2	II	
		刑法	2	II	
		行政法 I	2	II	
	発 展 科 目	憲法 II	2	III・IV	
		民法 II	2	III・IV	
		国際法	2	III・IV	
基礎法特講		【2】	II・III・IV		
企 業 法	基 幹 科 目	商法 I	2	II	
	発 展 科 目	商法 II	2	III・IV	
		経済法	2	III・IV	
		知的財産法	2	III・IV	
		労働法	2	III・IV	
		社会保障法	2	III・IV	
		国際経済法	2	III・IV	
		国際取引法	2	III・IV	
		企業法特講	【2】	II・III・IV	
	発 展 科 目	社会連携実践 III	2	II	早期卒業者に限る
卒業研究		4	III		
自 由 科 目	日本史	2	I	※	
	外国史	2	I	※	
	地理学	2	I	※	
	経済学入門	2	I	※	
	経済理論	2	II	※	
	国際経済と現代	2	III・IV	※	
	研究指導	8	III・IV		
	卒業論文	4	IV		

※印は教員免許状を取得するための科目であることを示す。

*単位欄中の数値に【 】が付いている授業科目は、複数の講義題目により行われる場合、それぞれ一の授業科目として履修することができる。

*配当基準年次が「II・III・IV」となっている科目については、講義題目等に応じて配当基準年次を別に定めることができる。

エ 社会情報学科

講座	授 業 科 目		単位数	配当基準年次	備 考	
計 画 科 学	基 幹 科 目	計画数学	2	Ⅱ		
	発 展 科 目	ホ ^ホ レ ^ホ シ ^ホ ョ ^ホ ン ^ホ ズ ^ホ ・リ ^ホ サ ^ホ チ	2	Ⅲ・Ⅳ		
		社会計画	2	Ⅲ・Ⅳ		
計画科学		2	Ⅲ・Ⅳ			
組 織 と 情 報	基 幹 科 目	経営システム基礎	2	Ⅱ		
	発 展 科 目	組織情報論	2	Ⅲ・Ⅳ		
		社会情報論	2	Ⅲ・Ⅳ		
情報システム論		2	Ⅲ・Ⅳ			
社 会 と 情 報	基 幹 科 目	情報処理基礎	2	Ⅱ		
	発 展 科 目	知識科学基礎	2	Ⅱ		
		情報処理	2	Ⅲ・Ⅳ		
コンピュータネットワーク論		2	Ⅲ・Ⅳ			
	発 展 科 目	情報と職業	2	Ⅲ・Ⅳ		
		基 幹 科 目	社会情報入門	2	Ⅰ	
			発 展 科 目	社会連携実践Ⅲ	2	Ⅱ
卒業研究	4	Ⅲ				
		研究指導	8	Ⅲ・Ⅳ		
		卒業論文	4	Ⅳ		

オ 専門共通科目

授 業 科 目	単位数	配当基準年次	備 考
人間と文化論	2	Ⅱ	
現代社会と歴史論	2	Ⅱ	
社会心理と政治行動	2	Ⅱ	
自然と科学	2	Ⅱ	
人間科学論	2	Ⅱ	
言語文化論	2	Ⅱ	
研究指導	8	Ⅲ・Ⅳ	
卒業論文	4	Ⅳ	

カ 教職共通科目（昼間コース，夜間主コース共通）

授 業 科 目	単位数	配当基準年次	備 考	
教職論	2	Ⅱ		
教育原理	2	Ⅱ		
教育心理	2	Ⅰ		
教育制度	2	Ⅰ		
特別支援教育	1	Ⅱ		
商業科教育法Ⅰ	2	Ⅱ・Ⅲ		
商業科教育法Ⅱ	2	Ⅱ・Ⅲ		
社会科教育法Ⅰ	2	Ⅱ・Ⅲ		
社会科教育法Ⅱ	2	Ⅱ・Ⅲ		
社会科・公民科教育法Ⅰ	2	Ⅱ・Ⅲ		
社会科・公民科教育法Ⅱ	2	Ⅱ・Ⅲ		
英語科教育法Ⅰ	2	Ⅲ・Ⅳ		
英語科教育法Ⅱ	2	Ⅲ・Ⅳ		
英語科教育法Ⅲ	2	Ⅲ・Ⅳ		
英語科教育法Ⅳ	2	Ⅲ・Ⅳ		
情報科教育法Ⅰ	2	Ⅱ・Ⅲ		
情報科教育法Ⅱ	2	Ⅱ・Ⅲ		
道徳教育	2	Ⅲ・Ⅳ		
「総合的な学習の時間」指導	1	Ⅱ		
法	2	Ⅱ		
教育課程論	1	Ⅱ		
特別活動論	2	Ⅲ・Ⅳ		
教育方法	2	Ⅱ		
生徒指導	2	Ⅲ・Ⅳ		
教育相談	1	Ⅳ		
事前・事後指導	2	Ⅳ		
教育実習Ⅰ	2	Ⅳ		
教育実習Ⅱ	2	Ⅳ		
教職実践演習(中・高)				
その他の科目	情報機器概論	2	Ⅰ	

別表第3（第29条関係）

学 科 等		種 類	認 定 を 受 け た 免 許 状	
			種 類	教 科
昼 間 コ ー ス	経 済 学 科 企 業 法 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	社 会	
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	公 民	
	商 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	英 語	
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	商 業, 英 語	
	社 会 情 報 学 科	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	情 報	
夜 間 主 コ ー ス	経 済 学 科 企 業 法 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	社 会	
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	公 民	
	商 学 科	中 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	英 語	
		高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	商 業, 英 語	
	社 会 情 報 学 科	高 等 学 校 教 諭 一 種 免 許 状	情 報	